



www.fao.org

林業

主な動き

2005年、森林は全世界の陸地面積の約3割にあたる、39億5,200万ヘクタールを占めました。

世界の森林の約93パーセントは天然林で7パーセントは人工林です。2005年には世界の産業用木材のおよそ3分の2が人工林によってまかなわれました。

2000年から2005年にかけて、年間およそ1,300万ヘクタールが森林破壊の影響を受け、1年に失われた森林面積は実質730万ヘクタールになりました。

森林破壊のほとんどは熱帯諸国で起きています。その一方で温帯森林生態系を持つ先進国の大半は、森林面積が安定もしくは増加しています。

1990年から2005年には、主に生物多様性の維持を目的に保全された森林が32パーセント増えました。これは森林保全が政治的に取り組まれたことを示しています。こうして保護された森林は今では世界の森林面積の約11パーセントを占めます。

世界銀行は、森林の違法伐採によって、100億米ドルから150億米ドル規模の森林資源が公有地から失われていると推計しています。

途上国では、貧困にある20億人以上の人々が木材燃料を主要エネルギー源としています。アフリカでは伐採された木材の8割以上がエネルギーに用いられています。

将来のための森林管理

FAOの戦略目標の1つは、世界の森林を持続可能な形で管理することです。FAO林業局は、社会・環境上の配慮と林産物貿易という経済上のニーズとが両立するよう努めています。FAOは中立的な政治対話の場、森林や樹木に関する信頼ある情報源、そして各国が効果的な森林計画を策定、実施できるよう技術援助と助言を行う機関として、役割を果たしています。

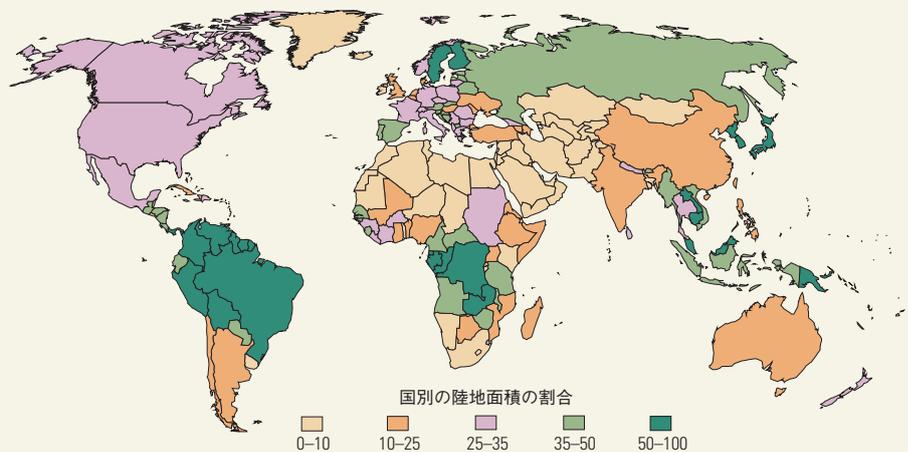
アイデアの共有、パートナーシップの構築

FAO林業委員会は、各国の林野当局、国際組織、民間部門、市民社会組織の責任者を一堂に集め、林業に関する新たな国際問題について検討するとともに、FAOの活動計画を策定します。地域問題については6つの地域林業委員会が対応します。このほかに、FAOには「紙・木製品諮問委員会」(Advisory Committee on Paper and Wood Products)もあり、民間企業の代表を集め、世界的な課題に取り組むほか、FAOへの助言も行います。

FAOは世界の森林にかかわる14の代表的な

国際機関で構成される「森林に関する協調パートナーシップ」で議長役を務めているほか、「山岳パートナーシップ」や「国家森林プログラム・ファシリティー」でもリーダー役を務めています。「山岳パートナーシップ」は山岳住民の生活と山岳生態系を守ることを目的に設立された国際コンソーシアムであり、「国家森林プログラム・ファシリティー」は途上国の森林開発において、参加プロセスを導入し、林業と他の主要分野との一体化政策を推進する全く新しい枠組みです。

森林面積 (2005年)



南米は世界最大の森林面積を有しますが、森林破壊も非常に進んでいます。

出所：「FAO世界森林白書2007年」

正しい森林・林業政策のための正しい情報

FAOには森林と森林資源に関する世界的な情報拠点としての役割のほか、各国の森林データの整備能力強化を支援する機関としての役割があります。FAOは加盟国と協力し、定期的に森林資源の評価を世界的に実施して、報告書、出版物、FAOウェブサイトで公開しています。『世界森林資源評価』は世界の森林に関する最も包括的な報告書です。

FAOが隔年で発行している『世界森林白書』は、森林分野の現在の、そして新たな課題について記した重要な報告書です。林業に関する査読付きの学術誌『Unasylva』は1947年の創刊以来、英語、フランス語、スペイン語で定期的に発表されており、森林に関する多言語の学術誌として世界で最も古い歴史を持ちます。



レバノンでの火災との闘い

©FAO/Kai Wiedenhofer

質の高い森林管理のための知識

FAOは、各国が森林計画の策定・改善、森林活動の計画・実施、効果的な森林法の施行を実現できるよう、技術援助や助言を行っています。この20年で、120カ国以上がFAOから森林に関する助言を受け、効果を上げています。

FAOは世界中の関係当事者と幅広く協議し、それを土台に森林管理に関する指針を作成しています。火災管理、人工林の責任ある管理、森林収穫の方法に関する指針には定評があります。

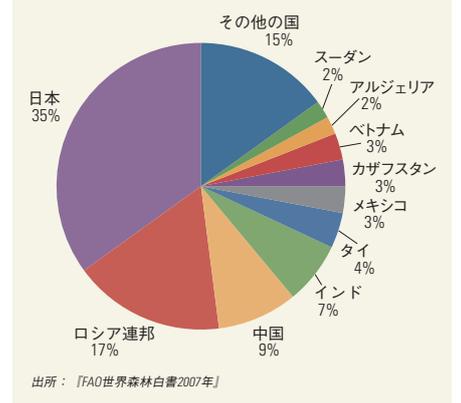
森林は世界で最も重要な再生可能バイオエネルギー源です。FAOが発行する『森林とエネルギー：主な課題』は、この分野で重大な政策決断を迫られている加盟国に指針を示すものです。FAOは、森林資源を枯渇させないエネルギー利用システムを作るため各国と協力しています。

FAOは、森林の健康を守るための緊急援助を行うほか、各国が病虫害の抑制に関して戦略を立てられるよう支援しています。

毎年、火災によって何百万ヘクタールもの土地が被害を受けています。FAOは各国と協力し、コミュニティを主体とした取り組みを導入するほか、火災関連の政策、法律を強化し、防火管理に関する国際協力を進めています。

森林や樹木は、農村に住む何億人もの人々の生活を支えています。森林の恩恵を受けている人々に森林の管理方法について発言する権利が与えられるなら、彼らはその保護に関してより積極的になることでしょう。FAOでは、農村の経済的ニーズと将来に向けた森林資源保護とが両立できるよう、参加型林業とコミュニティベースの企業の普及を図っています。

保護植林比率の高い国上位 10 カ国 (2005 年)



森林地域の年間実質変化率 (2000 ~ 2005 年)

